

校訓
 明 信 覇
 朗 念 気



第 5 号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会
 北 嶺 会
 静岡県富士宮市大宮2300 (北高内)
 電話 (05442) 7-2533 (代)
 編集 北 嶺 会 広 報 部
 部 長 井 出 元 一



時の流れ

三万六千坪の広大さ
 キャンパスの丁度真中
 を東西に横切る三百米
 にわたる中央道の道路
 端両側に桜と銀杏の交
 互に聳ゆる巨木の並木
 は、春には桜花らんま
 んとして咲き誇り、
 夏は仰いで青空も
 ぞけぬ程に濃い葉が風
 なほ暗くなる程おい繁
 り、秋は一勢に黄色一
 色に衣替え、道行く人
 々の顔迄ほんのり染め
 るが如くに……

昭和十三年即ち今より
 実に四十年前に本校
 創立当時の先輩諸兄が
 ほんの親指程の太さの
 桜と銀杏の木を交互に
 植樹したのだが、こ
 れらの木には、自から
 も成長を続け乍らこの
 学校より巣立って行っ
 た一万人に達する人々
 を見守り見送り続けて
 来た。或る時は出征兵
 士として再び帰らざる
 者も居たが、大方の者
 は平和な戦士として社
 会に巣立って行った。
 今この巨木の根之に立
 ちそして過ぎ去りし時
 を振り返り、感慨ひとし
 おなるものを感じるの
 である。

北嶺会長
 今村 堯

人物往来

事は成るの日に 成るに非ず

天間特殊製紙株式会社
 取締役社長 金子健一郎
 (第一回卒)



卒業以来廿七年始めての
 めぐり合わせであった。
 いろいろの事情で彼の自
 宅を訪れる事にした。身延
 線富士根駅のすぐ近くであ
 る。会った瞬間、長者の相
 とは、かたくなな人品と思わ
 せるような人品である。人
 間五十才台にて己の相に自
 らの過ぎにし人生の歩みが

イトの建設に踏み切った
 中二〇〇兆抄速四五〇/M
 月産三百兆である。
 更に現在二兆のリップレス
 として中二七〇〇兆四五
 〇/M、月産三百兆を建設
 中であるとのこと。
 およそ「事は成るの日に
 成るに非ず」というが、正
 に彼の場合この言がピッタ
 リだ。

現在天特は資本金三千万
 円の小会社であるが、五四
 年二月期決算の経常利益は
 三億九千七百万円で正に一
 流会社以上の内容である。
 株主は社外に求めず、従
 業員の殆ど者に持たせ、従
 主従が株主で家族的運命共
 同体という体質である。配
 当は二割とのこと。
 社は是は特にこれを定めず
 会社をよくする事が社会の
 為であり、全従業員が為で
 あると彼はいう。彼の健康
 の為に「金を離れる」と言
 って、居宅をあとにした。

人物往来

地域に密着した 企業「ひのや」

株式会社ひのや本店
 専務取締役 富士康太郎
 (第一回卒)



戦国時代に富士浅間神社
 の公文所に富士氏という一
 族がいた。その流れを継い
 でいる人達が西町で酒類の
 販売業を営んでいた。
 大正三年富士氏は「ひの
 や商店」を名のり、昭和二
 十三年、兄弟四人力を合せ
 て株式会社ひのや本店を創
 設した。
 其の后、東京新宿に東京
 営業所、甲府に清涼飲料水
 の工場を持って、製造から

五月某日、取材の為富士
 氏の在社を確認すべく電話
 した処、最初に耳に飛び込
 んで来た言葉は「有難うご
 ざいます、ひのや本店で
 す」であった。一般大衆を
 顧客とするとは言え如何に
 従業員教育が徹底している
 かこの一事で、わかるうと
 いうものだ。

更に、この店の特色は、
 生み出した利益は従業員に
 厚く分配して、彼等のやる
 気を刺激しているという事
 だ。
 商売遣いの筆者から見
 ても、あれだけの品種と青果
 物の仕入れには相当の配慮
 があるのではないかと思
 うが、若手に思切つて権限を
 委譲しているようだ。
 全従業員数は、正社員四
 百四十人、パート三百七十
 人、合わせて八百十人とい
 う事だが、この人達が甘
 所に分散しているだけに人
 心の掌握に特別の配慮が払
 われているようだ。
 地域に密着した企業とし
 て、消費者の将来の嗜好を
 先取りした「ひのや」は更
 に前進するであろう。

卸まで幅広い活躍をしてい
 た。
 昭和三十三年富士氏はア
 メリカの食料関係の流通消
 費の実態をその目で見て、
 日本の消費構造の将来を予
 見し、思い切つて卸からス
 ーパーに切替えた。
 その後、年を追う毎に店
 数が増え現在二十店舗(市
 内四、富士一〇、沼津三、
 三島二、長原一)年商百五
 〇億の県下有数のスーパー
 「ひのや」に迄成長した。
 資本金三千五百万円、経
 常利益率一・六%、三割配
 当と言ふ数字を聞いただけ
 で、薄利多売、現金掛値な

し、と銘打って成功した江
 戸時代の三井商法を思い出
 す。
 本部へ訪れて先づ気の付
 いた事は、若手が多いとい
 う事で成長企業の特徴の一
 面を示している。次に感じ
 た事は、これだけの企業の
 本部の建物としては実に質
 素であるという点である。
 これは現業部門である各
 支店の建物に主力を置き本
 部の外観に、こだわらない
 という経営陣の堅実な姿勢
 のあらわれである。
 業種は違ふが或製造部門
 の会社々長が、本社建物に
 は見向きもせず、現業部

社会の一隅を照らす

北高の緑を愛する会
会長 井出元一
(第一回卒)

数年前、母校北高は地域の要望にこたえ、恵まれた環境とスポーツ施設を一般に活用していただく様に県の指定を受けてその使用を認める事にした。

学校当局によれば、昭和五十二年で正式な団体利用だけでも延べ三二二回、人員にして約二万五千八百人をかぞえ、その他小グループなどの無届利用や一般の構内散策等々を加えると年間利用者は五万人を越すものと推定されるとの事。

処でここに大変困った事態が生じた。それはゴミの増加とキャンパス、特に北高の緑豊かな森の荒れ方である。

これを見た北高をめぐる地域住民の二、三の有志がこの実情を大変憂慮して、何とか出来ないものかという事になり、前校長吉田氏や琴平、二の宮、三國平区長のご指導もあって昨年十二月九日「北高の緑を愛する会」が誕生した次第である。

北高初の力士 立富士誕生

富士宮市青木三六三
父 渡辺 豊(長男)
渡辺裕次(十八才)
身長 一米七十六種
体重 一一〇K
胸囲 一米一〇種
家族は五人で、両親に姉

ご挨拶

校長 新井義信



去る四月、中央道路の桜並木が満開の日、本校に赴任して参りました。いま、校長室の窓から眺める校庭は緑一色の生々とした光景です。

前任校長は伊東でしたが、伊東高校では昭和八年以来の木造校舎と狭隘化した校地を離れ、相模湾を望む高台に全面移転をし、二年掛りて校舎・体育館などの建設を行い、今年から内部充

北高には何回か来たことがあり、その広大なキャンパスに触れる度に、こういう所にこそ教育にふさわしい環境があると思っていま

たまに外来者として見ていて素晴らしい本校の環境に変わりはないのですがそれはただ広いというところからくるだけではないという

先覚者の先見の明を深く感ずるとともに、「その精神を今日に生かし、「覇氣、信念、明朗」の校訓に則った教育を心に念じます。それは、知徳体の調和のと

その主な行事としては、発足してまだ日も浅い事もあり満足はいく事も出来なかつたが
本年二月十八日、富士宮ウエスタンリーグの有志によるゴミ箱が六個寄贈され早速設置
四月十七日、勤勞奉仕による清掃作業と、吉田義誠氏から寄贈された「つつじ」二百本の植付けが行われた
つい最近、北高に所用があつて中央道を通つた。先月植付けの「つつじ」だから今年には花は見せまいと思

膝の弱さが彼を悩ませた。少々練習が激しいとすぐ膝に痛みを訴え休んでしまふ。しかし、このような選手には無理なシゴキは絶対禁物であることはわれわれはよく知っている。でもよく知っている。幾多の経験上、大物と言われた選手を潰した例は少なくはない。「早く強く」の焦る気持を抑えながら毎日の練習には、本人の体質や生理的成長に合わせて気長に基礎の反復練習やパワーづくりに専念し、時間を稼がざるを得なかつた。



写真は 渡辺 君

しかし、傍目に華やかなプロの世界は、孤独にして実に厳しく、毎日毎日が汗と土に塗れ、血を流しての猛稽古それに自我、孤独、勝負との戦いであることについて、彼は十分認識しての角界入りの決意である。それは「静岡では相撲は育たない」というジレンマを北嶺健児が見事に破つたからである。そして「なぜば成る何事も」の金字塔を富士山頂高らかに樹立する日を胸に本年春場所一番出世、そして夏場所の口で七戦全勝し、優勝決定戦で敗れたが見事準優勝をとげて来場所に期待が寄せられている。

その彼「立富士」が努力を重ね一日も早く開取りと呼ばれ、その雄姿がブラウソ管を通じて我々の眼に写るまで同窓生として健闘を祈りたい。

北嶺会の動き

- 昭和53年5月14日 創立40周年記念新聞「北嶺会だより」座談会を母校にて行う。
- 5月25日 全国相撲大会に出場する相撲部を激励
- 6月23日 創立40周年記念北嶺会総会を富士宮プリンス会館魚勝にて開催。来賓に望月玉三先生をお迎えして盛会であった。
- 尚、在校生にも新聞を配布してよるこぼれる。
- 7月 インターハイに出場する陸上競技部及び相撲部を激励
- 9月17日 母校北嶺祭に会長出席
- 10月 団体に出席する相撲部を激励
- 12月24日 全国高校マラソン大会に出場する陸上競技部を激励
- 昭和54年2月28日 同窓会入会式に役員出席し卒業生にネクタイピンを贈る
- 3月1日 母校卒業式、会長参列
- 4月27日 増田ビルにて三役会開催し総会の日時内容を検討
- 6月17日1時より富士宮プリンス会館魚勝で講師に第三回卒、東之富士工場生産部長遠藤康夫氏を迎えて開催する事に決定
- 同日第一回「北嶺会だより」編集会議、内容検討
- 5月7日 第二回編集会議
- 5月25日 第三回編集会議

あなたの町の気軽なスーパー

ひのや

本部/富士宮市黒田1659 ☎3-0111(代)
専務取締役 富士 康太郎(第1回卒)

ガソリン (燃料の総合商社) **プロパン**

Esso 岡重株式会社

厨房器具・冷暖房工事・消火器・米薪炭
代表取締役 岡村 和郎(第2回卒)

名勝白糸の滝が育んだおいしいお酒

白糸の原酒

富士宮市下條 TEL <05442> 8-1188
牧野酒造合資会社 社長 牧野 利夫(第2回卒)

株式・公社債のご用命は

藍澤證券

宮町10の3・☎3-0011
取締役富士宮支店長 高山 昭三(第7回卒)

同窓会 支部だより

○各支部、各役員の方々のご努力で少しづつではありましたが「北嶺会」の組織作りがなされておりますが、まだまだ不十分です。出来るだけ早い時期に各支部をまとめ、関東支部のように支部独自の活動が出来る事がのぞましいと思っております。

○そこで現在の各支部長名を挙げますので各地区の同窓生は支部長に協力し、又支部長は身近かの卒業生から呼びかけてそれぞれの組織作りを努力して下さい。

八月二十六日午後二時より上野池之端文化センターで行う事を決定しました。本年は組織再編成に伴い会員の関心が高揚し出席率も良いものと思われ、多数のご参加をお願い致します。

富士宮支部

渡辺仁三郎さん



懐しがらみで話して頂きました。

昭和十三年二月より相葉繁初代校長の紹介で大宮商工学校に入り今の市役所三階にて事務を取扱。一期生の入学試験は大宮小学校で行う。入学式は四万坪の校内にて行われ、四月より本願となる。第一期工事は校舎のみ、第二期工事は本館・講堂・剣道場・国旗塔、初の掲揚式の日、三十分前頃までは大雨でしたが望月軍四郎様おおいでの時には素晴らしい青空になり望月様の美徳がしのばれた全職員・生徒の水は学校東の旧登山道の方より汲み運び寄せ、四・五月位だったかな風食の湯は野天に沸し給す。事務室・校長

室・小使室は東の校舎で何事も為す、本館・小使室も出来、やっと屋内でお湯も沸す様になった。

毎年七月二十一日は学校行事として富士登山、一人の落伍者もなくほつとした学校の使いも大分忙しかつた。土手の草刈、中央道路の手入れ、生徒と共に稲付けた松の手入れが日々の明け暮れだった。戦時下サツマを校庭で育てて七十俵も供出した事など思い出さず方もおおいで事でしょう。社会に家庭に励んでおります。多くの卒業生様御自愛と共に学校は近代化してまいりました。校舎は近代化してまいりました。の広い土地、あの森は小島のねぐらになり、皆様の力で「森を守る会」ができたとかうれしく思います。私立十五年を経て県立になり通算三十五周年、その記念行事の為、中央道路の整備中に脳溢血で倒れ現在療養中です。皆様のご多幸を祈ります。

北高東門から百メートル程東にある渡辺さん宅を尋ねた。「何と呼ぼうか」というと「小使さんでもおじさんでもいいよ」と笑って言った。

渡辺仁三郎さん、そう私達が大変お世話になった用務員さん、いや小使さんと言った方がなつかしいかも知れない、私はこの渡辺さんこそ北高の生き字引きであり愛校の一人者であると考えている。四十八年三月退職され病状も快方に向っているが手足は大分不自由の様であるが、大変に

き町名別の名簿の作成です。総会時には、曲りなりにも市内中心の名簿を綴じることが出来ると思っております。其の間御協力願いました皆様にお礼申し上げます。これを持って、関係各位と相談の上、市内の支部総会を持つと共に、名簿の不備を正し、市外地域の地区別名簿の作成を急ぎたいと思っております。次回北嶺会だよりは、はつきりした支部だよりが書けます様願いますので、よろしく御声援の程お願い致します。

今迄に各職域支部、関東支部、静岡支部等が結成され、種々と活躍なされて居りますのに、地元である富士宮支部が結成されてないの何かと御迷惑をお掛けして居りますが、地元は地元としての存在と難しさを感じて居ります。つまり卒業生の市内在在の教職、職業別の交流、卒業年度の帯又地元支部の分け方等何かと弁解致しましたが、御了解されれば幸いです。

現在行なつて居ります事は支部結成の骨子となるべく活動等を行つて居ります。その状況等事務局へお知らせ下さい。

又、支部活動についての御意見等お寄せ頂ければ幸いです。

望月軍四郎先生
胸像周辺整備について

会長 今村 堯

- 各支部、各役員の方々のご努力で少しづつではありましたが「北嶺会」の組織作りがなされておりますが、まだまだ不十分です。出来るだけ早い時期に各支部をまとめ、関東支部のように支部独自の活動が出来る事がのぞましいと思っております。
- そこで現在の各支部長名を挙げますので各地区の同窓生は支部長に協力し、又支部長は身近かの卒業生から呼びかけてそれぞれの組織作りを努力して下さい。
- 富士宮第一支部 東町13-2 佐野陸夫
- 富士宮第二支部 西町16-2 佐野芳明
- 富士宮第三支部 上条868 佐野秀男
- 富士宮第四支部 杉田730 石川昭夫
- 静岡支部 久沢360-2 渡辺柳一
- 富士支部 水戸島中438
- 吉原支部 遠藤福太郎
- 鈴木浜町東通り遠藤富夫
- 芝川支部 羽野1170 村野道久
- 静岡支部 静岡市小島3-15-6 明石秀男
- 関東支部 府中市宮西町4丁目13番2号、宮西町ビル3F 三笠運送(株) 杉沢和一
- その他支部活動、グループ活動等を行つて居ります。その状況等事務局へお知らせ下さい。
- 又、支部活動についての御意見等お寄せ頂ければ幸いです。

関東支部

五十三年七月十六日(日)故望月軍四郎先生の墓参を行う。参加者は(本部)吉田校長、今村会長他三名

(関東支部)杉沢、若林、田口、佐野(成)、池田、宇佐美、赤池、若林(貞)、吉田、寺田、佐野(隆)の十六名。ささやかながら先生を偲んでなつかしいひとときをすごしました。

本年は七月十六日(日)の予定です。尚集合の場所及び時間等は事務局へお問い合わせ下さい。

第四回関東支部例会は望月軍三先生をお迎えし吉田校長、小沢、篠原諸先生、今村会長、田中幹事長他多数の参加と支部会員五十余名の出席によって盛大に開催されました。年毎に盛り上げる支部の動きです。改めて会員の健康と安定した生活をお祈り致します。

関東支部の事務所が次の様に変わりました。

東京都府中市宮西町四丁目十三番二号宮西町ビル三階三三運送有限会社内

電話〇四三三〇八三三三

お気軽にご利用下さい。

就職状況一覧表

〔金融・証券〕	三和銀行	1	三島製紙	1
静岡信用金庫	1	〔運輸・通信〕	国鉄	2
富士証券	4	日本電信電話公社	1	
〔卸・小売〕	丸百商店	1	横浜東部運送	1
大丸百貨店	1	〔電気・ガス〕	東京電力	1
岡村屋	1	〔公務・その他〕	国家公務員(郵政)	1
日産プリンズ	1	警察	1	
朝日商産	2	印刷	1	
福泉食品	1	富士宮市農協	2	
藤川食品	1	フラワーツアード	1	
ルック工業	3	日本ランド	2	
相模川工業	1	大和電気	1	
岡重石	1	三和電機	1	
の文	1	東芝クレジット	1	
		東京出版	1	
		中島モーターズ	1	
		中山クリニック	1	
		富士宮脳外科研究所	1	

富士市天間264

天間特殊製紙株式会社

取締役社長 金子健一郎 (第1回卒)

☎ <0545> 71-2621

特白ボール・コートボール・ラミネート加工
グラビア印刷・オフセット印刷から製函迄
富士宮市浅間町6番3号

協和製紙株式会社

本社工場・第二加工場・第三加工場

代表取締役 渡辺秀夫 (第1回卒)
専務取締役 塩川喜彦 (第1回卒)

心にのこる誓いの広場

富士プリンス会館
富士宮プリンス会館

魚 勝

取締役副社長 望月良二 (第10回卒)

静岡県富士市宇東川東町1番13号

宇東川製紙株式会社

代表取締役 福島清茂 (第3回卒)

北高 各部の活躍

- ◎バトミントン部**
 - 53年6月インターハイ予選 個人戦 米山文雄 3位
 - 54年1月新人戦県大会 2位の部ダブルス 2位
 - 5月インターハイ東部予選 ダブルス 優勝
 - 5月スポーツ祭県大会 3年の部ダブルス 優勝
 - 板垣・和田組 優勝
 - シングル板垣忠良5位
- ◎相撲部**
 - 53年8月インターハイ 団体戦 5位
 - 54年5月県スポーツ祭 団体戦 優勝
- ◎剣道部**
 - 53年度全国総体東部予選 男子団体 3位
 - 個人戦 ベスト8
 - 53年度団体東部予選 4名出場するもベスト8で敗退
 - 53年度新人戦 東部大会男子団体準優勝
 - 県大会 男子団体 3位
 - 54年度全国総体東部予選 男子団体戦 ベスト8
 - 男子個人 上柳暢政3位
 - 女子団体戦 予選敗退
 - 女子個人戦 ベスト16
- ◎柔道部**
 - 53年度県スポーツ祭 地区大会 1位・3位
 - 県大会 3位
 - インターハイ県予選個人 地区大会 軽量級 1位
 - 中量級 3位・4位
 - 軽重量級 5位・6位
 - 重量級 1位・5位
- ◎陸上競技部**
 - 54年度県スポーツ祭 第一部1位・第二部2位
 - 54年度県スポーツ祭 塚ベスト32
 - 53年度新人戦 東部予選 個人重量級勝呂良三3位
 - 東部新人大会 2位
 - 54年度インターハイ東部 高校選抜東部予選 5位
 - シングル佐野5位、手塚ベスト32
 - ダブルス佐野手塚組9位
 - 団体 6位
- ◎野球部**
 - 53年春季東部大会優勝
 - 北高4:1御殿場西
 - 2:1三島
 - 10:6吉原商業
 - 5:1日大三島
 - 一回戦 県大会
 - 北高4:5川根
 - 全国高校静岡大会 四回戦
 - 北高6:2椋原
 - 8:1森
 - 4:1清水市商
 - 1:4東海大一
 - 54年春季東部大会 三回戦
 - 北高8:3伊東商業
 - 6:5蕪山
 - 1:5修善寺工業
- ◎水泳部**
 - 53年度全国選手権県大会 島田工業4:1北高
 - 54年度インターハイ東部予選 個人戦 ベスト16に3名(いずれも県大会へ)
 - 団体戦 優勝
 - 54年度インターハイ東部 個人戦 ベスト16に3名
- ◎バスケット部**
 - 53年度新人戦 東部予選 佐野ベスト16、前田・手塚・立田ベスト32
 - 54年度インターハイ東部 高校選抜東部予選 5位
 - シングル佐野5位、手塚ベスト32
 - ダブルス佐野手塚組9位
 - 団体 6位
- ◎スケート部**
 - 53年度新人戦 東部予選 佐野ベスト16、前田・手塚・立田ベスト32
 - 54年度インターハイ東部 高校選抜東部予選 5位
 - シングル佐野5位、手塚ベスト32
 - ダブルス佐野手塚組9位
 - 団体 6位
- ◎卓球部**
 - 53年度新人戦 東部予選 佐野ベスト16、前田・手塚・立田ベスト32
 - 54年度インターハイ東部 高校選抜東部予選 5位
 - シングル佐野5位、手塚ベスト32
 - ダブルス佐野手塚組9位
 - 団体 6位
- ◎サッカー部**
 - 53年度全国選手権県大会 島田工業4:1北高
 - 54年度インターハイ東部予選 個人戦 ベスト16に3名(いずれも県大会へ)
 - 団体戦 優勝
 - 54年度インターハイ東部 個人戦 ベスト16に3名
- ◎弓道部**
 - 53年度新人戦 東部予選 佐野ベスト16、前田・手塚・立田ベスト32
 - 54年度インターハイ東部 高校選抜東部予選 5位
 - シングル佐野5位、手塚ベスト32
 - ダブルス佐野手塚組9位
 - 団体 6位
- ◎バドミントン部**
 - 53年6月インターハイ予選 個人戦 米山文雄 3位
 - 54年1月新人戦県大会 2位の部ダブルス 2位
 - 5月インターハイ東部予選 ダブルス 優勝
 - 5月スポーツ祭県大会 3年の部ダブルス 優勝
 - 板垣・和田組 優勝
 - シングル板垣忠良5位



駅伝競走(全国大会於京都)

進学状況一覽表

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国立大学	11	亜細亜大	6	東洋大	12	京大	2
山形大	2	桜美林大	5	日本体育大	14	名古屋大	2
茨城大	2	学習院大	1	日本文教大	4	名城大	2
新潟大	1	慶応義塾大	1	文政大	2	岐阜大	5
山梨大	1	国士学院大	3	武蔵野大	11	京都大	4
静岡大	4	工学院大	8	武蔵野大	3	京同大	2
和歌山大	1	駒沢工大	17	明治大	2	立命館大	3
		芝浦工大	2	明治大	4	竜谷大	1
		成城大	2	立教大	4	大阪大	2
		専修大	1	立正大	3	大阪大	1
私立大学	11	創価大	21	和光大	8	大阪大	1
北福大	1	大東文化大	4	早稲田大	2	花園大	1
国際商科大	3	高千穂商科大	6	徳川大	1	関西大	3
上城西大	1	拓殖大	3	神奈川大	16	近畿大	2
流通経済大	1	玉川大	8	関東学院大	4	関西大	1
埼玉工大	1	中央大	1	相模大	1	岡山大	2
独協大	5	東海大	7	横浜大	3	福西大	1
淑徳大	1	東京経大	8	金沢大	1		
千葉商大	14	東京歯大	1	長野大	1		
千叶商大	7	東京電大	1	愛知大	1		
中央学院大	1	東京農大	1	愛知大	1		
青山学院大	6	東京理大	2	愛知大	2		
						計	317

- ◎落語研究部**
 - 200米自由型 渡井6位
 - 200米背泳 山本4位
 - 200米バタ 勝野5位
 - 200米バタ 勝野5位
 - 400米メドレー 小林3位
 - 400米メドレー 小林3位
 - 800米自由型 小林4位
 - 800米自由型 小林4位
 - 1000米バタ 渡辺3位
 - 1000米バタ 渡辺3位
 - 200米バタ 勝野4位
 - 200米バタ 勝野4位
 - 200米個人メドレー 平井5位
 - 11月17日ライオンズC招待公演(富士木ノ宮漫間神)
- ◎百人一首部**
 - 敬老の日招待慰問
 - 神立公民館、羽衣・木ノ花・浅間・淀橋・富士見ヶ丘各区公会堂、二の宮公会堂
 - 3月28日富士宮老人養護センター招待慰問
 - 3月26日淀師敬老会慰問
 - 3月28日富士宮老人養護センター招待慰問
 - 集会主催横浜大会B級優勝
 - 小林和正(三段)
 - 全日本カルタ協会主催大会
- ◎商業研究部**
 - 東部高校タイプ大会
 - カナの部石松宣信 3位
- ◎将棋部**
 - 静岡県カルタ協会主催大会
 - それぞれ出場
 - 12月3日上野長生園、富士老人ホーム慰問
 - 1月5日富士宮保母講習会招待公演
 - 2月4日第28回北嶺寄席
 - 3月26日淀師敬老会慰問
 - 3月28日富士宮老人養護センター招待慰問
 - 団体戦Aチーム 優勝
 - (石川哲、荻、望月)
 - 団体戦Bチーム 準優勝
 - (佐野、石川昌、井出)
 - 個人戦酒井憲二 準優勝

編集後記

北嶺会だよりも第5号を迎えた。つい先年はじめたような気がするが早いものだ、光陰矢の如しとはこの事を言うのか。

創刊号は4頁、2号3号は2頁、そして4号は創立記念号として10頁だったが今回より4頁とする。内容も第一線で活躍する同窓生を紹介の「人物往来」をレギュラーとし挨拶的なものは出来るだけ除かせていた。

相撲の「立富士」こと渡辺君の紹介や、なつかしい小使さんのその後など話題を集めてみた。次号も卒業生、在校生を問わず取り上げて行くつもりなので協力をお願いします。

創立記念号の名刺広告は別として、今回より一部に広告を載せる事にした。内容の充実、頁数の増しや在校生にも配布する等部数の増加に伴う予算的な面も考えての事なのでご了承願いたい。

やもするとこの種の会報は一部の人の手による片寄ったものになりがちで、いくら一回のものと言ってもあまりワンパターンでは意味がない、諸氏から原稿が寄せられてその整理に困るくらいになりたいものだ。まだ一年先の事だが、内容その他が気になった点等遠慮なく意見を出してもらいたい、そして会員で作る会員の「北嶺会だより」にして行きたいものだ。

尚「人物往来」天間特種の取材に当り、筆者の苦しい立場から十二分の配慮を払った点を御理解いただき、この項を終ります。

(井出)